

学会だより

総会記事にあります様に、改革問題に関する今期理事会の方針及びその実行案は、幸い総会に於る多数の御支持を得て可決されました。実行案としての定款一部改訂は、規定により総会の2/3以上の賛成により成立した訳ですが、総会に出席されなかった多数の会員の皆様にこれ迄の事情を御理解頂いておく事が大切であると考えて、この一文を草する次第です。

4月末に全会員にお送りした定款一部改訂に関する総会提案の予告文書にも御説明致しました様に、今期理事会は、運営改革問題に関しましては、前期理事会から継続審議となった“中間案”に基いて、異例とも云える密度で審議を重ねて参りましたが、ついに特B問題に関しては理事会内で合意に至らず、打開策として「特B問題、担当評議員制問題は、他の学会運営上の諸問題と矛盾を生じない様な解決を探る為、今後の検討に委ねる事とし、合意可能な評議員選挙を先に進める」と云う案が理事会内で採択され、その結果総会提案としては、さしあたり現定款の最低必要な修正により、特別会員相互間で評議員選挙を行うと云う形になった次第です。この案はこれ迄に論議されて来た改革案に比べて、非常に地味な内容のものです。日本の代表的な天文学の専門的研究連絡団体としての日本天文学会が、爆発的とも云える発展を続けている現代の天文学に対応し、更にそれを押し進める一翼を担う為にも、現在一刻も早く行なわねばならないのは研究者間の意志統一の正常化であるという立場から、ひとまず、その点に主眼を置いた現状打開案となって居ります。しかし将来、天文学会の会務、財政能力等とも抵触しない形で特B会員制がまとまった場合は特B会員も自動的に選挙に加わることが出来る形となって居ります。選挙方法については実施の為の事務的準備期間も必要なので、遅くともこれから約1年の間にまとめる

必要がある訳ですが、今後理事会で“中間案”の選挙細則を始め、他の同じ位の規模の学会の選挙法等を参照しつつ、地方、専門などのほか、科学行政的ファクター等も適正に表現された、良く機能するメンバー構成の評議員が選出される様な選挙方法をにつめて行きたいと思えます。今回は以上に述べました様に主として研究者会員間の意志疎通に主眼をおいた改革のステップとなった訳ですが、勿論従来通り天文月報等を通じての普及的な面にも可能な限り力を致す所存です。天文学会の財源の乏しさや、専従職員が無く、事務量の増加が直ちに実務担当理事の研究者としての時間の犠牲の増大を意味する厳しい制約の下で、何が可能か、又何を為すべきかを考えて行かねばならないと云う実情を御賢察のうえ、御理解賜わる様お願いする次第です。お気付の御意見など、何なりと庶務理事迄お申し付け頂ければ幸いと存じます。

(庶務理事 内田 豊)

秋季年会のエクスカーションについて

10月4日午後の飛騨天文台へのエクスカーションに参加御希望の方は準備の都合がありますので8月末日までに飛騨天文台に直接御知らせ下さい。当日参加費(マイクロスバス借料)として1人1000円が必要です。

飛騨天文台のあて名は

〒 506-13 岐阜県吉城郡上宝村 飛騨天文台
Tel. 05786 (半自動) 130

山路ふみ子自然科学振興財団奨学賞および研究助成金候補者推薦について

財団法人山路ふみ子自然科学振興財団より学会あてに候補者推薦依頼がきております。推薦締切日8月10日となっておりますので、希望される方は至急学会庶務理事まで御連絡下さい。資格については天文月報1972年8月号218頁を御参照下さい。

掲 示 板

文部省編 学術用語集天文学編 日本学術振興会発行
丸善株式会社発売 定価750円、B6判、138ページ。

天文用語 2486語を決定したもので、和英の部、英和の部よりできている。成立の経緯については天文月報第65巻293ページ参照。

木曾観測所の見学 東京天文台木曾観測所では、今秋はまだ望遠鏡などの整備途上ですが、年会日程に合わせ

て10月5日を会員の見学日と致します。ついでには木曾福島駅発15時半頃、同駅帰着18時半頃のバスをチャーターしますので、このバスの利用希望者は、8月末までに下記あてお申込み下さい(実費は利用者の分担をお願いします)。

なお当日は乗鞍コロナ観測所の見学日でもありますが(7月号学会だより参照)、高山駅発6時30分の乗鞍行バスに乗れば、両方とも見学することができます。詳細は年会々場の掲示を御参照下さい。

記

〒 181 東京都三鷹市大沢 東京天文台内銀河系部

天文大学院夏の学校

期 日 7月28日～8月2日

場 所 宮城県玉造郡鳴子町大口字蓬田 117
かわたび
 東北大学川渡共同セミナーセンター

分科会 星間物質
 銀河構造
 Activity

星 (X線)

一般相対論

太陽

連絡先 〒 908 仙台市片平町2丁目2の1の1
 東北大学理学部天文学教室
 夏の学校事務局
 0222 (27) 6200 内線 3243

賛 助 会 員 名 簿

| | | | |
|--------------|----------------------|-------------|---------|
| 旭光学工業株式会社 | 鈴木幸三郎 | 誠文堂新光社 | 小川茂男 |
| 朝日新聞社科学部 | 梅田敏郎 | ソニー株式会社 | 井深大 |
| アジア航測株式会社 | 駒村雄三郎 | 谷村株式会社新興製作所 | 谷村昌子 |
| アストロ光学工業株式会社 | 滝沢 磐 | 地 人 書 館 | 上 条 勇 |
| 岩井計算センター | 岩井英夫 | 天 文 博 物 館 | |
| 岩 波 書 店 | 岩波雄二郎 | 五島プラネタリウム | 五 島 昇 |
| 宇宙開発事業団 | 島 秀 雄 | 東京精密測器株式会社 | 池 辺 常 刀 |
| 沖電気工業株式会社 | 佐藤敦之 | 東京電力株式会社 | 木川田一隆 |
| カールツァイス株式会社 | 波木泰雄 | 東北電力株式会社 | 若 林 彊 |
| 関西電力株式会社 | 芦原義重 | ナ ル ミ 商 会 | 村 上 俊 男 |
| 関東電気工業株式会社 | 関井忠夫 | 日 米 商 会 | 高野高之 |
| 九州電力株式会社 | ^{カワツ} 瓦 林 潔 | 日本光学工業株式会社 | 彌永恭二郎 |
| 啓文堂松本印刷 | 松本 喬 | 法 月 鉄 工 所 | 法月惣次郎 |
| 恒星社厚生閣 | 志賀正路 | 丸 善 株 式 会 社 | 司 忠 |
| 甲南カメラ研究所 | 西村中子 | 三鷹光器株式会社 | 中村義一 |
| 五藤光学研究所 | 五藤齊三 | 三菱電機株式会社 | |
| 金光教本部教庁 | 金光鑑太郎 | 電子営業第二部 | 伊 東 祐 義 |
| 島田理化学工業株式会社 | 実 一 武 夫 | ミノルタカメラ株式会社 | 田 嶋 一 雄 |
| 新電子工業株式会社 | 山本和 | 八洲測量株式会社 | 西村正紀 |

1974年6月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|
| 1 | 4, | 44 | 6 | 4, | 54 | 11 | —, | — | 16 | 2, | 7 | 21 | —, | — | 26 | 1, | 1 |
| 2 | —, | — | 7 | 4, | 58 | 12 | 2, | 42 | 17 | 2, | 14 | 22 | 1, | 9 | 27 | —, | — |
| 3 | 3, | 65 | 8 | 4, | 50 | 13 | 2, | 24 | 18 | 2, | 9 | 23 | 1, | 5 | 28 | —, | — |
| 4 | —, | — | 9 | 4, | 56 | 14 | —, | — | 19 | —, | — | 24 | 1, | 4 | 29 | 3, | 16 |
| 5 | —, | — | 10 | —, | — | 15 | 3, | 36 | 20 | 2, | 21 | 25 | 1, | 2 | 30 | —, | — |

(相対数月平均値: 37.0)

| | | | |
|------------|--------|--------------------------|--------------|
| 昭和49年7月20日 | 編集兼発行人 | 〒181 東京都三鷹市東京天文台内 | 森 本 雅 樹 |
| 印刷発行 | 印刷所 | 〒112 東京都文京区水道2-7-5 | 啓文堂松本印刷 |
| 定価 200 円 | 発行所 | 〒181 東京都三鷹市東京天文台内 | 社団法人 日本天文学会 |
| | | 電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359 | 振替口座東京 13595 |